

年頭のごあいさつ

安曇野市長

平林 伊三郎

2009年の幕が開きました。日ごろより市政に対する温かいご理解、ご支援を賜り、心から感謝申し上げます。昨年からの世界的な金融危機にはじまった経済の後退、混乱による不況の波は、かつてないパターンで押し寄せてくることが考えられる状況であります。市内におきましては、まだ具体的にその波は来ておりませんが、その気配はひしひしと迫っているのを感じております。

市といたしましても、市民の皆さまの暮らしを守るために、昨年末より緊急経済対策を実施し、特に失業された皆さまへの雇用支援や生活支援、また企業の皆さまへの支援策によって全力でサポートして行きたいと考えております。

さて、安曇野市は合併から3年目が過ぎ、本年度は安曇野市の合併以来からの重要課題が大切な局面を迎える年となります。

土地利用制度については、昨年、市民検討委員会や専門委員会からの提言をもとに、自主条例を用いた制度により、市内全域の統一を目指す方針を固めました。これは、国の制度に頼ってきたということからの脱却

を図り、これからの地方分権のあり方を示唆しうるものとして捉えております。国政が迷走している中で、地域が国を作るといふ気構えで、自らが決定し、責任を持つということがますます問われるだろうと思っております。自信を持ってこれを進めて参りたいと思っております。

もうひとつの重要課題である本庁舎等の建設の検討については、昨年4月に本庁舎建設検討委員会から行政・防災の拠点として本庁舎の建設に早期に取り組み必要があるとの提言をいただきました。この提言を踏まえ、10月に本庁舎等建設審議会に対して諮問を行い、本格的な審議に入ることとなりました。

住民サービスを優先させることを基本とし、市の将来を見越して発展していく上で本庁舎の存在は、極めて重要であり避けて通れない課題として進めたいと考えております。

経済的、あるいは社会状況の混乱があるにせよ、基礎作りにもう一度しっかりと取り組み、共に支え合って生きることを見詰め直すチャンスでもあると考えています。新しい年を新しい気持ちで、どんなことにも一丸となって立ち向かっていく、そんな想いで取り組んでまいります。市民の皆さまの市政へのご理解とご協力をお願いします。

終わりに、市民の皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

特集



市長と語る会



豊科会場：豊科ふれあいホール

市長と教育長が市民の皆さんと市政について直接語り合う「市長と語る会」を昨年11月に市内5会場で開催しました。(11/18 堀金総合支所、11/20 三郷公民館講堂、11/21 豊科ふれあいホール、11/27 明科公民館講堂、11/28 穂高総合支所)

今回は前年を40人上回る578人が参加し、本庁舎建設や土地利用のほか、医療、農業、教育など幅広い分野での意見交換が行われました。今月号は、その一部を抜粋し紹介します。